

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 小野建株式会社 上場取引所 東 福
 コード番号 7414 URL <http://www.onoken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 建
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務管理統括本部長 (氏名) 小野 哲司 TEL 093-561-0036
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	143,534	△14.4	3,686	△9.4	3,870	△8.4	2,566	△9.0
2020年3月期第3四半期	167,641	△0.8	4,068	△10.9	4,223	△10.2	2,820	△12.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,659百万円 (△2.8%) 2020年3月期第3四半期 2,734百万円 (△11.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	121.39	101.63
2020年3月期第3四半期	129.00	—

(注) 2020年3月期第3四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しない為記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	153,583	71,887	46.7
2020年3月期	153,598	70,160	45.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 71,673百万円 2020年3月期 70,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	40.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,776	△12.4	6,057	△4.8	6,280	△3.8	4,306	△2.5	203.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	21,859,712株	2020年3月期	21,859,712株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	704,816株	2020年3月期	735,251株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	21,142,734株	2020年3月期3Q	21,859,211株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍で、業種毎に明暗が大きく分かれるなかではあるものの、総じて低調に推移しておりますが、上半期以降、政府による景気回復に向けての施策や中国をはじめ海外の経済が回復傾向となるなどの要因により、部分的には景気回復への動きも見え始めております。

当社グループが属している鉄鋼建材流通業界におきましては、主力販売先である建設関連業界向け販売は、インバウンド需要の急激な減少を主要因とする観光関連の落ち込みから、ホテル・商業施設などの建設延期や計画の中止などの影響を受け中小型案件向けは減少いたしました。前年度から続いている大型案件向け並びに物流施設向けなどはほぼ予定通りに推移しております。

鉄鋼商品販売においては、期間前半こそ需要の低迷と原材料である鉄スクラップの価格の下落から、鉄鋼商品市況は下落傾向となっておりますが、期間後半からは、需要の回復はなかなか見通せないものの、中国の景気回復とともに鉄スクラップ市況は急騰し、それに合わせてメーカーの販売価格が上昇し、鉄鋼流通市場も値上げの機運が急激に高まっております。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、需要が低調に推移するなかで鉄鋼商品販売における受注拡大と収益向上のための加工設備の充実と活用を進め、あわせて工事請負分野においては更なる営業推進を図ることで、経営環境の変化に対応し安定した収益確保に積極的に取り組んでまいりました。

業績につきましては、前年同期に対し当第3四半期連結累計期間の売上高は、鉄鋼商品販売数量の減少を主要因として1,435億34百万円（前年同期比14.4%減）の減収となりました。損益面におきましても、鉄鋼市況の変動に対応することにより利益率が向上したものの、鉄鋼商品販売数量の減少を主要因として営業利益36億86百万円（前年同期比9.4%減）、経常利益38億70百万円（前年同期比8.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益25億66百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①九州・中国エリア

前年同期に対し、売上高は鉄鋼商品の販売数量の減少により減少いたしました。損益は鉄鋼商品の販売数量の減少を主要因として減少いたしました。その結果、外部顧客への売上高は844億83百万円（前年同期比13.2%減）、セグメント利益は25億4百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

②関西・中京エリア

前年同期に対し、売上高は鉄鋼商品の販売数量の減少により減少いたしました。損益は鉄鋼商品の販売数量の減少を主要因として減少いたしました。その結果、外部顧客への売上高は318億46百万円（前年同期比18.5%減）、セグメント利益は6億36百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

③関東・東北エリア

前年同期に対し、売上高は鉄鋼商品の販売数量の減少により減少いたしました。損益は鉄鋼商品の販売数量の減少を主要因として減少いたしました。その結果、外部顧客への売上高は272億5百万円（前年同期比12.8%減）、セグメント利益は4億99百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

前連結会計年度末比14百万円減少し、1,535億83百万円となりました。主な要因は、売上の減少に伴う売掛債権の減少によるものです。

(負債の部)

前連結会計年度末比17億41百万円減少し、816億96百万円となりました。主な要因は、仕入の減少に伴う仕入債務の減少、及び在庫商品の減少に伴い借入金が増加したことによるものです。

(純資産の部)

前連結会計年度末比17億26百万円増加し、718億87百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社グループの主要販売商品であります鉄鋼商品の市況の動向や販売状況を鑑み、2021年2月8日に通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2021年2月8日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,292	6,011
受取手形及び売掛金	53,072	44,982
電子記録債権	9,719	10,240
商品及び製品	18,929	15,283
原材料及び貯蔵品	2,482	1,781
前渡金	10,382	18,483
その他	240	213
貸倒引当金	△105	△93
流動資産合計	100,013	96,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,980	18,331
土地	27,609	28,367
その他(純額)	5,321	7,323
有形固定資産合計	50,911	54,022
無形固定資産		
その他	178	161
無形固定資産合計	178	161
投資その他の資産		
その他	3,442	3,313
貸倒引当金	△947	△815
投資その他の資産合計	2,495	2,497
固定資産合計	53,584	56,681
資産合計	153,598	153,583
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,363	22,435
電子記録債務	18,403	16,595
短期借入金	22,250	17,550
1年内返済予定の長期借入金	89	—
未払法人税等	1,075	351
前受金	6,170	14,113
賞与引当金	1,094	755
その他	3,180	2,710
流動負債合計	75,628	74,511
固定負債		
社債	6,029	6,024
長期借入金	34	—
役員退職慰労引当金	636	38
退職給付に係る負債	743	751
資産除去債務	163	164
その他	202	206
固定負債合計	7,809	7,185
負債合計	83,437	81,696

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,299	4,299
資本剰余金	4,302	4,288
利益剰余金	62,475	63,880
自己株式	△1,000	△959
株主資本合計	70,077	71,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	174
繰延ヘッジ損益	4	△7
退職給付に係る調整累計額	△1	△2
その他の包括利益累計額合計	82	164
非支配株主持分	0	213
純資産合計	70,160	71,887
負債純資産合計	153,598	153,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	167,641	143,534
売上原価	153,463	130,070
売上総利益	14,177	13,464
販売費及び一般管理費	10,109	9,778
営業利益	4,068	3,686
営業外収益		
受取利息	2	6
受取家賃	49	49
助成金収入	20	71
その他	168	117
営業外収益合計	241	245
営業外費用		
支払利息	26	15
売上割引	46	39
その他	13	7
営業外費用合計	86	61
経常利益	4,223	3,870
特別利益		
固定資産売却益	14	—
投資有価証券売却益	—	21
出資金売却益	—	0
特別利益合計	14	21
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	82	1
投資有価証券評価損	0	24
出資金売却損	—	0
出資金評価損	0	—
特別損失合計	83	29
税金等調整前四半期純利益	4,154	3,862
法人税等	1,334	1,284
四半期純利益	2,820	2,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,820	2,566

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,820	2,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	94
繰延ヘッジ損益	3	△12
退職給付に係る調整額	△22	△1
その他の包括利益合計	△85	81
四半期包括利益	2,734	2,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,734	2,648
非支配株主に係る四半期包括利益	0	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。